

利用実証計画書

平成22年11月 1日 Ver.1

テーマ	L1-SAIF、IMES 信号の利活用(コンシューマ受信機の測位性能向上)実証実験	
実施機関 (共同機関)	測位衛星技術(株) (慶應義塾大学、(株)電通国際情報サービス)	
目的	L1 SAIFメッセージに含まれる衛星クロック情報を効率的に取り出すことで、測位時間の短縮と精度向上が期待できる。代表的な利用シーンでの上記の性能向上が、どのように有効であるか実証実験を通じて、明らかにしていきたい。	
内容	①基礎検証試験:TTFF(測位時間)の短縮効果の把握、省エネ効果の把握、測位精度向上効果の把握 ②利用実証試験:カーナビゲーション/パーソナルナビゲーションユーザーを想定した実証実験、人/モノのトレーサビリティアプリケーションを想定した実験、位置情報連動広告を想定した実験	
期間	全体	H23.1.20 ~ H23.2.31
	時間・頻度	9:00~17:00、20日間程度
構成	全体構成; 付図参照	
システム要求	受信信号	QZS-L1SAIF、GPS-L1CA、その他(IMES)
	受信設備	SPACサブm受信機(6)
	受信場所	東京都(新宿、日吉)
	事前準備	シミュレータによる事前確認。設備の事前貸与。
	実証時	衛星クロックデータの送信仕様の提示
	事後処理	なし
	その他	なし
特記事項	貸与受信機は性能確認済みであること	

